

科目名	造園計画						年度	2026	
英語科目名	Landscaping plan						学期	後期	
学科・学年	土木・造園科 1年次	必/選	選3	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	高橋 真弓	教員の実務経験	有	実務経験の職種	造園設計				
【科目の目的】 造園設計の基本原則とプロセスを学生に理解させることです。学生は、実際のプロジェクトに応用可能な造園の理論と技術を習得し、自然と調和した持続可能な造園空間を設計する能力を育成します。また、植物材料の選定、土地利用の計画、エコロジーへの理解を深め、実際の造園プロジェクトでの問題解決能力を養います。									
【科目の概要】 この授業では、造園の歴史、設計理論、実践方法について学びます。カリキュラムは、造園の歴史的背景から始まり、現代の設計技術、持続可能な造園方法、公共および私的空間での造園設計まで幅広くカバーします。授業は、講義、ワークショップ、ケーススタディの分析、そして実際の設計プロジェクトによって構成され、学生が理論と実践の両方を経験できるようにします。									
【到達目標】 理論理解：造園の歴史および理論的背景を深く理解し、それを現代の設計に応用できる。 技術習得：様々なタイプの造園プロジェクトで用いられる設計技術と実践方法をマスターする。 創造的設計：学生自身の造園設計案を創出し、それをプレゼンテーションとして展開できる能力を培う。 問題解決：実際の造園設計課題に対して、環境的、社会的、文化的要因を考慮に入れた持続可能な解決策を提案できる。 協働作業：チームで協力し、集団内でのコミュニケーションと協調を促進するスキルを養う。									
【授業の注意点】 「学び」の姿勢を身につけることを重視するため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず欠席した場合は、自ら申し出て、授業内容を確認し、取り返す努力をすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標 A	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		造園の理論と歴史を理解し、適切に説明できる。		造園の基本概念を識別できるが、詳細は不明瞭。				
到達目標 B	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		多様な設計技術を自立して適用できる。		基本的な設計技術を使えるが、助言が必要。				
到達目標 C	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		複雑な要素を取り入れた設計案を作成できる。		単純な設計案を作成できる。				
到達目標 D	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		複合的な問題に対し、複数の解決策を提案できる。		基本的な問題に対して一般的な解決策を提示できる。				
到達目標 E	造園の歴史と理論を深く理解し、新たな視点で解釈できる。		チーム内で積極的に貢献し、一部の活動をリードできる。		チーム活動に参加はするが、主導はできない。				
【教科書】 配布プリント等									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 授業への取り組み、期末試験の結果等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		造園計画			年度	2026
英語表記		Landscaping plan			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	造園の歴史と文化的背景	造園の歴史的発展と文化的意義を理解する。	1 古代の庭園デザインの概要	歴史的造園スタイルの識別	1	
			2 東洋と西洋の庭園スタイルの比較	文化的要素を庭園設計に組み入れる能力		
			3 近代造園の発展と現代への影響	歴史的な視点から現代造園を解釈する技術		
2	造園の理論と原則	造園設計の基本原則と理論を理解する。	1 造園の設計原則（統一性、バランス、対比）	設計原則を用いたプロジェクト計画	2	
			2 持続可能性とエコロジカルデザイン	環境に優しい造園技術の適用		
			3 公共空間とプライベート空間の造園	空間の機能に応じた造園デザインの作成		
3	地形と地理の影響	地形と地理が造園設計に与える影響を学ぶ。	1 地形分析と造園への影響	地形と地理的条件の分析	2	
			2 気候、土壌、水理学の基本	適切な植物材料と配置の選定		
			3 地理的要素を考慮した植物選択	地理的要素に基づく持続可能な設計の開発		
4	植物材料とその用途	造園に使用される主要な植物材料の特性と用途を学ぶ。	1 植物の分類と特性	植物選定における美的および機能的要素の考慮	2	
			2 植物の美的要素と機能性	季節に応じた植物配置		
			3 植物の季節変化と環境適応	環境適応性の高い植物の選択		
5	水の役割とデザイン	水を造園デザインに取り入れる技術とその影響を学ぶ。	1 水景の歴史とデザイン	水景デザインの計画と実装	1	
			2 水の持つ心理的・環境的影響	水の持続可能な利用と管理		
			3 水循環システムと持続可能な水利用	水のエコロジーへの影響評価		
6	造園のための測量技術	造園計画における測量技術の基本を学び、現地調査が設計にどのように役立つかを理解する。	1 測量機器の種類と使い方	測量機器の正確な操作	1	
			2 現地測量データの取得と解析	測量データの解析と評価		
			3 測量結果をもとにした設計への応用	測量結果を設計に反映させる技術		
7	照明と造園	造園における照明計画の重要性を理解し、夜間の空間をデザインする技術を学ぶ。	1 照明の種類と特性	照明計画の作成	1	
			2 照明計画の原則と技術	光の効果を最大化する配置技術		
			3 照明を利用した空間演出法	照明による空間の安全性と美観の向上		
8	道路とアクセスデザイン	造園における道路とアクセスの計画を学び、使い勝手の良いアクセスウェイの設計を行う。	1 歩行者と車両の流れの理解	効果的なアクセスウェイの設計	1	
			2 アクセスウェイの設計原則	安全な交通流の整備		
			3 安全かつ効果的な交通動線の計画	アクセスデザインの可視性とアクセシビリティの向上		
9	造園の法規と政策	造園に関連する法規制と政策を理解し、合法的かつ倫理的な設計を行う。	1 造園に影響する主要な法律と規制	法規制の遵守と文書化	1	
			2 環境保護法とその造園設計への影響	環境倫理に基づく設計の実施		
			3 公共の場の造園における規制とポリシー	法的要件を満たすプロジェクト管理		
10	造園設計のプレゼンテーション技術	効果的な造園プロジェクトのプレゼンテーション技術を習得する。	1 ビジュアルエイズの作成（図面、3Dモデル）	プレゼンテーション資料の作成	1	
			2 設計アイデアの効果的なコミュニケーション	設計思想の明確な伝達		
			3 プレゼンテーションにおける聴衆との対話	フィードバックの受け入れと対応		
11	サステナブルな造園デザイン	持続可能な造園デザインの原則と技術を理解し、適用する。	1 サステナブルな設計の原則と重要性	エコロジカルな要素をデザインに統合	1	
			2 自然資源の保護と統合された造園アプローチ	持続可能な材料と実践の選択		
			3 緑のインフラと生物多様性の促進	生態系サービスの強化を意識した計画作成		
13	都市造園と公共空間	都市環境における造園デザインの課題と機会を理解し、効果的な公共空間の設計方法を学ぶ。	1 都市設計と造園の融合	都市環境に適した植物選択と配置	1	
			2 公共空間の機能と役割	公共の利益と環境美化を考慮した空間計画		
			3 アクセシビリティとアクセシビリティの向上	アクセスと使用の容易さを重視したデザイン		
13	造園プロジェクトの管理と実施	造園プロジェクトの計画から実施、維持管理に至るまでのプロセスを理解する。	1 プロジェクト管理の基本	造園プロジェクトの効率的な管理	2	
			2 設計から実施へのフェーズ別プロセス	プロジェクトの予算設定とコスト管理		
			3 維持管理と持続可能性の確保	長期的な維持管理計画の立案		
14	ヒーリングガーデンとセラピューティックデザイン	セラピューティックデザインの概念を理解し、ヒーリングガーデンの設計における要素を学ぶ。	1 セラピューティックランドスケープの理論	心地よさと癒しを提供する空間の創出	1	
			2 ヒーリングガーデンの設計原則	感覚的要素を組み込んだデザイン		
			3 心理的および身体的健康への影響	ユーザーの健康を向上させる環境設計		
15	造園デザインの未来と革新	新しい技術と革新的なアプローチが造園設計に与える影響を探る。	1 持続可能な技術と新しい材料	先進技術を利用した設計	1	
			2 スマートガーデンとデジタルツールの利用	環境変化への適応計画		
			3 地球温暖化と都市化への対応	革新的なアイデアとソリューションの開発		

評価方法：1. 小テスト、3. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等